

## 伊達茶とは



北限の茶の  
ふくよかな香りと  
まろやかな味わい

およそ四百年前、仙台藩主伊達政宗公は茶栽培を奨励しました。北限の茶づくりは石巻市桃生で連綿と受け継がれて来たのです。北上川が悠々と流れる山間にさんさんと太陽は降り注ぎ、湧き上がる霧とミネラルを運ぶ追波湾の潮風が、ふくよかな香りとまろやかな味わいの茶葉を育みました。

深いおいしさを  
引き出す低温抽出

宮城県石巻市桃生町はお茶の栽培に適した温暖な土地です。寒暖の差が大きく、茶葉が好む朝霧も発生しやすい丘陵地の地形で、北国にもかかわらず良質な茶葉が栽培されます。立春から百八夜という長い期間、茶農家は丹精込めて茶を育て、摘みとります。その貴重なお茶から低温抽出で伊達茶が持つ旨みを引き出しました。

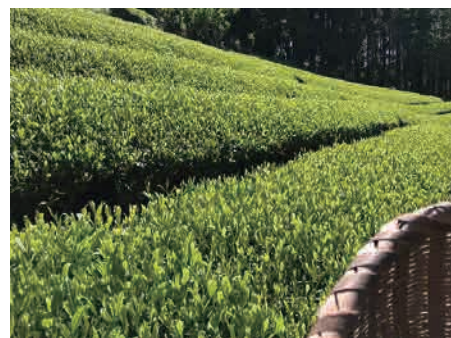
## 茶農家を支えたい

伊達茶を作る農家は  
一軒だけ

手間ひまをかけ、おいしい茶葉を育てる茶農家が、栽培に専念でき、次の世代になりわいを繋いで行くことができるように、矢部園は適正な価格で伊達茶を買い支えたいと考えています。

未来の生産者を育てる

農家の子どもたちに「伊達茶を作るってかっこいい」と思ってもらいたい、良質なお茶を作る人生を誇りに思ってもらいたいと矢部園は願っています。そのためには伊達茶を、どなにもおいしいと言っていただけの商品にして、全国の皆様に味わっていただくことが重要です。伊達茶をペットボトルで販売するのは、その手段のひとつです。茶葉と水だけで作ったピュアな伊達茶を手にとってもらい、飲んでいただき、そのおいしさを実感していただくことが、伊達茶の存在を発信する最良の方法だと考えたのです。「北限の日本茶 伊達茶」のブランド価値を、このペットボトルで高めてまいりたいと考えています。矢部園はこれからも、茶農家とともに精一杯、精進いたします。



石巻・桃生のお茶のおいしさを  
ペットボトルにぎゅつと詰めました



### ●茶葉生産者

鹿島茶園  
佐々木 浩さん  
宮城県石巻市桃生町



## ペットボトルデザインについて

### ●ペットボトルの新デザインについて



伊達茶・新ペットボトルは、宮城県塩竈市以北に伝わる「キリコ」と呼ばれる正月の神棚飾りの切り紙を模してデザインされました。北上川は緑の松が美しい追波湾へと流れ、その流域で伊達茶は育ちます。このデザインの中央上部に描かれた桃は、伊達茶が育つ桃生の地を表し、その周囲にはつややかな茶葉が育つさまが表現されています。緑起のいい末広がりの中に描かれているのは、矢部園の紋。その下には悠々と流れる北上川と豊かな耕土、松がデザインされています。伊達茶が生まれる背景を、シンプルな「キリコ」柄で表した新デザインが、やさしいお茶の色を引き立てます。

### ●「伊達茶」揮毫

日本光平 先生



1948年愛知県生まれ。全国最年少の17歳で毎日書道展初入選。大学時代を含めて11年間を京都で過ごし、真言密教学院書道講師、東寺発掘調査員を経て30歳で上京。この間に仏教美術、古筆、考古学、民俗学を独学で学ぶ。

36歳で有力書道団体を離脱し、欧米をはじめ韓国、中国など広くアジアを取材し自由な創作活動を展開。近年はロシア、中国、モンゴルの岩画調査をライフワークとする。

1988年(39歳)ソウル耕仁美術館で初個展。以降、毎年日本各地で個展を開催中。2015年「四国八十八ヶ所霊場開創1200年」記念事業として香川県74番札所甲山寺の大棟46枚に「般若心経曼荼羅」などを揮毫。仙台でも定期的に個展を開催。

茶匠 矢部園

伊達茶 ペットボトル  
デザイン・仕様変更と  
販売価格変更のお知らせ

各位

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

伊達茶ペットボトルは、100%宮城県産茶を使用した北限のペットボトル茶として誕生し、2006年に「桃生茶」という名称で販売が始まりました。販路を確保し、大手メーカー商品との差別化を実現するまでには、多くの困難を乗り越えなければなりません。「おいしい」というご評価をいただいても、お客様にマイナーなメーカーのペットボトルを手にとっていただくのはむずかしく、涙を飲んで売れ残った商品を廃棄しなければならないこともありました。

それでも、「なんとか北限の茶畑を残していきたい…。北限の茶畑を知っていただきたい…」という想いは消えることはありませんでした。2010年に現行デザインにボトルをリニューアルしてからは、「伊達茶ペットボトル」は多くの方に親しまれるようになり、さらには伊達家十八代ご当主にも応援をいただくまでとなりました。

大量生産が可能な大手飲料メーカーは、原料と生産コスト、管理・流通コストを低く抑えることができますが、伊達茶ペットボトルは単一生産農家による限られた原料で少量ロットでの製造となるため、製造コストをどうしても大手並みに抑えることはできません。これまでは、一人でも多くのお客様にそのおいしさを確かめていただきたいと、大手と同等の内容量と価格を設定してまいりました。

今回、お客様からいただいた多くの好意的なご評価と励ましのお言葉を追い風とし、ペットボトルデザインのリニューアルを機会に、下記のとおり、価格を変更させていただく決断をいたしました。生産農家を支えていくために、農家の手間暇に値する価格で茶葉を買い支え、政宗公の時代から継承されてきた茶栽培の伝統を将来に伝えることに資して参りたいとの思いからの価格変更でございます。

石巻市桃生の畑で生産される北限の茶葉から高い技術でおいしさを抽出し、他の商品に比類なき高いウオリティーを実現した新生・伊達茶ペットボトル。矢部園茶舗の自信作です。

これまで伊達茶をご愛顧いただきましたお客様には、できうる限りの努力をさせていただきたいと存じます。何卒、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

今後とも、北限の仙台銘茶 伊達茶ペットボトルにご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2018年6月吉日

茶匠 矢部園

代表取締役 矢部 亨

記

1. 内容量…変更なし

【現行】350ml ⇒ 【新商品】350ml

2. 小売希望価格

【現行】140円（税別）⇒ 【新商品】200円（税別）

3. 納品価格

【現行】 円（税別）⇒ 【新商品】 円（税別）

4. 商品品質

【現行】一番茶100%抽出 ⇒ 【新商品】一番茶低温濃厚抽出

5. 実施日時

2018年7月上旬～中旬を予定

（茶葉の適採時期によって変動する場合があります）



茶の心を  
この一本に込めました。

## 和敬清寂

「和」 お互いに心を開き  
「敬」 お互いに敬いあい  
「清」 清らかな心  
「寂」 何事にも動かない、  
静かな心で

政宗公も敬愛した利休は、茶の湯の世界をこう表しました。  
人と人のいる場を、  
「茶」で心通い合う  
和やかな場になりたい。  
そう願いながら、  
「和敬清寂」の心で  
「伊達茶」を一生懸命に、  
おいれしました。  
北の茶畑特有の、馥郁たる香りと  
まろやかな茶の旨みを  
ボトルに封じ込めました。

●お問い合わせメールアドレス info-yabe-en@yabe-en.com

〒985-0002 宮城県塩竈市海岸通2-3  
株式会社 矢部園茶舗

TEL:022-364-1515 FAX:022-365-0636

URL:http://yabe-en.com/